

## 10月メール会報 HEADLINE お役立ち情報

リンクをクリックすると詳しい情報を参照できます

「第四次環境基本計画の進捗状況・今後の課題(案)」に対する意見の募集(環境省パブリックコメント)10/23 配信分から

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17280>(環境省)

台風26号による災害に関して被災中小企業者対策の実施 10/23 配信分から

経済産業省は平成25年台風第26号の被災中小企業者対策を実施(10/16 公表)10/23 配信分から

<http://www.meti.go.jp/press/2013/10/20131021005/20131021005.html>

プラスチック製品/店頭回収・リサイクル/実証実験 10/21 配信分から

環境省のプラスチックリサイクルの実証事業「PLA-PLUS(プラプラ)プロジェクト」

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17261>

中小企業・小規模事業者のための消費税の手引き 10/15 配信分から

<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/zeisei/2013/131008syouhizei.htm>

荷役災害の防止へ～荷役作業安全ガイドライン 10/21 配信分から

<http://www.haisin.mhlw.go.jp/mhlw/C/?c=192317>(厚生労働省)

カーボンオフセットプロバイダー講座の開催について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17262>

2013 年度冬季の電力需要に係る報告の徴収 10/1 配信分から

<http://www.meti.go.jp/press/2013/09/20130927004/20130927004.html>

電力システム改革小委員会～制度設計ワーキンググループ(第3回)資料配布  
10/23 配信分から

[http://www.meti.go.jp/committee/sougouenergy/kihonseisaku/denryoku\\_system/seido\\_sekkei\\_wg/003\\_haifu.html](http://www.meti.go.jp/committee/sougouenergy/kihonseisaku/denryoku_system/seido_sekkei_wg/003_haifu.html)

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第 37 回総会の結果について(お知らせ)10/1 配信分から

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17281>



## 日本 RPF 工業会活動の報告

## ■ 容器包装の3R 推進に関する小委員会にて 要望書を提出

2013 年 10 月 3 日

産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会、容器包装ワーキンググループ、中央環境審議会循環型社会部会容器包装の3R 推進に関する小委員会合同会合にオブザーバーとして日本 RPF 工業会事務局長

## 事務局より

## 第5回全国 RPF 生産量・消費量調査実施のお知らせ

今回で5回目となります、全国 RPF 生産量・消費量調査を実施致しました。ご回答を頂戴しました皆様、ご協力賜りまして誠にありがとうございました。

ご回答いただきました結果は、集計を行いまして、改めてご案内をさせていただきます。次回調査実施の際も、ご理解とご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

## 四季折々

今年も暮れが迫りました。寒暖の差が激しい季節になりましたので、皆様風邪などはひかれていないでしょうか。

年末といえますと、恒例の『ユーキャン新語・流行語大賞』がもうすぐ決まりますね。今年も色々な流行語がありました。「倍返し」「じえじえ」「おもてなし」「いつやるか?今でしょ!」などノミネートされておりますが、当業界では「電気代高過ぎ」が流行(蔓延)した言葉だったのではないのでしょうか。電気だけに、暗い話は今年で終わりにして、明るい新年を迎えましょう。



## 会員ご紹介

当会の賛助会員、株式会社アーステクニカのご紹介を致します。



『RPF 製造設備への取り組みについて』

当社は、1994年以來 RPF 製造設備メーカーとして、RPF 製造業者様の原料集荷の助けとなるような機器の製造、導入の提案に取り組み続けております。昨今、お客様よりご要望をいただく機会が増えております「異物の混入した原料や高塩素の原料等、性状の悪い原料」への対策として、以下のような設備をご用意しております。

### ①マルチソータ

(PVC/PVDC 除去) イメージ写真



<http://www.earthtechnica.co.jp/recycling/k13/index.html>    ご紹介ページ

### ②エアジェアットセパレータ

(風力による異物大量選別)

<http://www.earthtechnica.co.jp/recycling/k14/index.html>    ご紹介ページ

上記選別機のほか、2軸破碎機や高トルク1軸破碎機など、従来の単なる破碎・成形機器に留まることなく多彩な機器を基に、RPF 製造における上流工程から下流工程までを総合的に提案し、お客様に満足いただけるよう努めてまいります。    了

■お問合せ先：株式会社アーステクニカ  
営業部 環境営業課 土田（ツチダ）  
mail:tsuchida\_t@earthtechnica.co.jp  
tel:03(3230)7154 fax:03(3230)7158

が参加しました。別途、上記合同会合に要望書を提出しました。

以下のリンクより、提出資料を参照できます。

<http://www.jrpf.gr.jp/youkihousou-1.html>

## ■技術・品質委員会 第一回勉強会 開催のご報告

さる平成25年9月10日、第一回技術・品質委員会を開催しましたところ、70名にも及ぶご参加を戴き盛大に開催することが出来ました。開催にあたり、ご尽力戴きました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

この専門部会は、当工業会設立の意思に沿うべく、これまで個々に努力されてきた様々な課題への取り組みの成果などの情報を、会員企業様と共有する事により、共に研鑽し合う場と致したく開催するものです。

RPF 事業が開始され、まもなく四半世紀を迎えようとしている訳ですが、時代の流れとともに、我々事業者に求められるものには、大きな変化がございます。わが国では、次世代エネルギーへの変革期を迎えている訳でございますが、自然エネルギーに比べ厳しい環境問題と生き残りをかけた変化を求められ、取り組むべき課題が山積しております。

自らその変化を発動する為、お互いに研鑽しあえるグループを目指して活動していき、その結果、得られるものの中にその指針が見えてくるように思います。是非とも受け身の参画ではなく積極的な参画をして戴きたく存じます。

次号は、11月29日に開催しました工場見学会の様子などをご報告いたします。

————— 技術・品質委員会 委員長 長田和志

## Q & A

**Q.** 千葉県外産業廃棄物の中間処理等に関わる事前協議が廃止されました。

県外からの産業廃棄物を受け入れるにあたってのメリットはありましたか。

**A.** 県外からの受け入れに対する規制がなくなったことで、排出事業者の印象は良くなっています。また、手続きの必要がなくなり、事務的な時間やコストのセーブにつながっています。

事務局より

本欄でのご質問を募集いたします。

質問の内容にあわせて、回答者を選定し充実したQ&Aにしていきたいとおもいます。

質問はEメールまたはファックスで事務局まで

E-mail:info@jrpf.gr.jp FAX 03-5296-0303